明治維新

名前

問1　日朝修好条規の条文の中に、「日本人が朝鮮の貿易港で罪を犯し、朝鮮人と交渉が必要な事件が起こった場合は、日本の領事が裁判を行う」という旨の規定があります。この規定が持つ性質について説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2019年 大分県公立入試 類似）

1. 日本と朝鮮が対等な立場で互いの司法権を尊重し合うことを約束したものである。
2. 日本が欧米諸国に対して撤廃を求めていたものと同様の、不平等な内容である。
3. 朝鮮が日本に対して、将来他国に与えた有利な条件を自動的に与えるよう約束したものである。
4. 日本が朝鮮に対して、輸出品の税率を自主的に決定できる権利を認めたものである。

問2　1873年に始まった地租改正では、当初、地租の税率は地価の3パーセントと定められていました。しかし、1877年に政府はこの税率を2.5パーセントに引き下げました。この措置が取られた政治的な背景として最も適切な説明はどれですか。（2024年 山梨県公立入試 類似）

1. 徴兵令の施行によって農村の労働力が減少したため、その補償として税負担を軽減し、農業生産力を維持することが目的であった。
2. 納税方法を従来の物納から金納へと変更したことで、政府の税収が予想を大幅に上回ったため、余剰分を国民に還元することにした。
3. 地租改正に反対する農民一揆が各地で激化し、さらに不平士族の反乱も重なったため、国民の不満を和らげて政府の基盤を安定させる必要があった。
4. 欧米視察から帰国した岩倉使節団が、諸外国の税率に合わせるよう提言したため、国際基準に基づき税率の調整が行われた。

問3　山口県では明治維新から150年を記念し、郷土の先人たちの功績を振り返る取り組みが行われました。その中で、長州藩の代表として、坂本龍馬の仲介により薩摩藩と薩長同盟を結び、後に明治政府の参与や岩倉使節団の全権副使を務めた人物として紹介されているのは誰ですか。（2016年 山口県公立入試 類似）

1. 大隈重信
2. 木戸孝允
3. 板垣退助
4. 勝海舟

問4　明治政府が1872年に群馬県へ富岡製糸場を建設した際、欧米の知識や技術を導入することで近代的な産業を育てようとした一連の政策を何といいますか。（2018年 沖縄県公立入試 類似）

1. 版籍奉還
2. 文明開化
3. 殖産興業
4. 富国強兵

問5　明治初期の職業の変化に関する資料によると、江戸時代から続いた通信手段である「飛脚」が急速に姿を消したことが示されています。このように、旧来の仕組みを廃止して新たに郵便制度を導入した目的や特徴として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 奈良県公立入試 類似）

1. 飛脚を民間の運送会社として再編し、藩ごとに異なる料金体系で手紙を運ぶようにした。
2. 飛脚の組織をそのまま利用し、電話機を各家庭に普及させることで通信速度を向上させた。
3. 蒸気船の普及に合わせて海上通信を優先するため、陸上での手紙の配達を一時的に制限した。
4. 国家による一元的な組織として整備し、距離に関わらず均一の料金で手紙を運ぶ仕組みを確立した。

問6　明治政府が行った「廃藩置県」の目的と、その内容を正しく説明しているものはどれですか。（2026年 静岡県公立入試 類似）

1. 藩の独立性を高め、それぞれの地域で独自の政治を行わせるため、大名を再び領主として任命した。
2. 国民の意見を政治に反映させるため、全国に地方議会を設置し、各地域の代表者に統治権を分散させた。
3. 天皇を中心とする強力な統治体制を築くため、藩を廃止して府知事や県令を中央政府から派遣し、全国を直接支配した。
4. 江戸幕府の仕組みを維持するため、将軍に代わって有力な藩主たちが合議制で政治を行う体制を整えた。

問7　明治政府が1871年に実施した「廃藩置県」の目的や内容として、最も適切な説明を選びなさい。（2018年 香川県公立入試 類似）

1. 徳川慶喜に政権を返上させることで、幕府の組織をそのまま新政府の行政機関として再利用するため。
2. 旧来の藩主（大名）から土地と人民を統治する権限を取り上げ、中央政府が任命した官吏を派遣して直接統治するため。
3. 武士に認められていた帯刀や苗字の特権を廃止し、四民平等の社会を実現して徴兵制の準備を整えるため。
4. 西郷隆盛らの主張を容れ、旧藩主の軍事力を結集して海外への武力進出（征韓論）を準備するため

問8　1868年、明治新政府は新しい政治の基本方針を天皇が神に誓うという形式で発表しました。この方針の中で、「広く会議を興し、万機公論に決すべし」として世論を尊重することや、「知識を世界に求め、大いに皇基を振起すべし」として開国和親の姿勢を示した文書を何といいますか。（2017年 滋賀県公立入試 類似）

1. 政体書
2. 五箇条の御誓文
3. 版籍奉還
4. 王政復古の大号令

問9　明治政府は欧米諸国に対抗できる近代国家をつくるため、西洋の文化や制度を積極的に導入しました。これにより、まげを落として洋服を着たり、パンや牛肉を食べたりするなど、西洋風の生活様式が広まった風潮を何といいますか。（2022年 青森県公立入試 類似）

1. 版籍奉還
2. 文明開化
3. 殖産興業
4. 富国強兵

問10　1871年に欧米諸国へ派遣された岩倉使節団の主な目的として、最も適切な説明はどれか。（2019年 滋賀県公立入試 類似）

1. 国内で頻発していた士族の反乱を抑えるため、欧米の最新兵器の導入と軍隊の派遣を要請すること
2. 幕末に結ばれた不平等条約の改正交渉を行い、あわせて欧米の先進的な制度や産業を視察すること
3. 廃藩置県の実施に際して、欧米諸国から政治的な承認と財政的な支援を取り付けること
4. キリスト教の信仰を全国で解禁することを条件に、関税自主権の完全な回復を合意すること

問11　明治時代、欧米の文化や技術が積極的に導入された「文明開化」の象徴として、1872年に日本で最初の鉄道が開通しました。このとき、線路が敷設された区間の組み合わせとして正しいものを、次の記述から選んでください。（2020年 沖縄県公立入試 類似）

1. 京都と神戸の間
2. 上野と熊谷の間
3. 日本橋と浦賀の間
4. 新橋と横浜の間

問12　1867年の大政奉還によって江戸幕府が滅亡した翌年、明治天皇が神々に誓う形式で発表した、新政府による国家運営の基本方針を何といいますか。（2021年 福島県公立入試 類似）

1. 軍人勅諭
2. 大日本帝国憲法
3. 教育勅語
4. 五箇条の御誓文

問13　明治維新が行われた後の1868年から1880年までの期間、日本は近代国家としての基盤を整えるためにさまざまな改革を短期間で進めました。この期間の出来事として誤っているものはどれですか。（2020年 鳥取県公立入試 類似）

1. 6歳以上の男女が小学校で教育を受けることを義務づける「学制」が公布された。
2. 新橋と横浜の間で、日本初の鉄道が開通した。
3. 内閣制度が創設され、伊藤博文が初代総理大臣に就任した。
4. 満20歳になった男子に兵役の義務を課す「徴兵令」が布告された。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 日本が欧米諸国に対して撤廃を求めていたものと同様の、不平等な内容である。	明治政府は、幕末に欧米諸国と結んだ不平等条約の中に含まれていた「領事裁判権（治外法権）」の撤廃を最優先の外交課題としていました。しかし、日朝修好条規においては、自国の軍事力を背景に、それと同じ不平等な権利を朝鮮側に認めさせました。この条約には他にも朝鮮側の関税自主権を認めないといった不平等な内容が含まれていました。
問2	答え 3 地租改正に反対する農民一揆が各地で激化し、さらに不平士族の反乱も重なったため、国民の不満を和らげて政府の基盤を安定させる必要があった。	明治政府が実施した地租改正は、豊作・不作にかかわらず一定の現金を納める制度であったため、農民にとって重い負担となりました。1873年から1876年にかけて各地で大規模な農民一揆が急増し、同時期に特権を奪われた士族による反乱も相次いで発生しました。1877年には最大規模の士族反乱である西南戦争が起こっており、政府はこれら内外の反発を鎮め、政権を維持するために地租を2.5パーセントへ引き下げる決断をしました。
問3	答え 2 木戸孝允	桂小五郎の名でも知られるこの人物は、対立していた薩摩藩の西郷隆盛らと手を結ぶことで倒幕の大きな流れを作りました。維新後は、五箇条の御誓文の起草や版籍奉還の推進など、新しい国づくりの中心的な役割を担いました。岩倉使節団では海外の法制度を視察し、帰国後は日本の近代化に向けた内治の整備を重視しました。
問4	答え 3 殖産興業	明治政府は、欧米列強に対抗できる国力を養うため、国内の産業を近代化させる必要がありました。そのために政府が主導して新しい技術や機械を導入し、産業の発展を図った政策が殖産興業です。富岡製糸場はその象徴的な施設として知られています。
問5	答え 4 国家による一元的な組織として整備し、距離に関わらず均一の料金で手紙を運ぶ仕組みを確立した。	明治政府は中央集権化を進める過程で、情報の伝達を国家が管理・保証する必要があると考えました。それまでの飛脚は距離や難易度で料金が異なる不定期なものでしたが、郵便制度の導入により、全国一律の安い料金で確実な通信が可能になり、近代的な社会の形成に大きく寄与しました。
問6	答え 3 天皇を中心とする強力な統治体制を築くため、藩を廃止して府知事や県令を中央政府から派遣し、全国を直接支配した。	明治維新において政府が目指したのは、軍事や徴税の権限を中央に集中させることでした。版籍奉還では旧藩主が知藩事として引き続き統治を認められていましたが、中央集権化を徹底するために廃藩置県が断行され、政府が任命した官吏（府知事・県令）が地方行政を担うことになりました。
問7	答え 2 旧来の藩主（大名）から土地と人民を統治する権限を取り上げ、中央政府が任命した官吏を派遣して直接統治するため。	1869年の版籍奉還では、旧藩主が引き続き「知藩事」として各地の統治を任されていましたが、中央政府の命令が全国に行き渡らないという課題がありました。そこで1871年に廃藩置県を断行し、藩を完全に廃止して知藩事を解任し、代わりに中央政府が任命した府知事や県令を派遣することで、強力な中央集権国家の基盤を固めました。
問8	答え 2 五箇条の御誓文	明治新政府が発足してまもない時期に、国民や諸外国に対して新しい国づくりの方向性を示したものです。江戸時代の閉鎖的な政治を改め、話し合い（公論）によって物事を決定することや、積極的に海外の知識を取り入れて国力を高める（開国）方針が明文化されました。
問9	答え 2 文明開化	明治初めに、欧米の近代的な文化や風俗が急速に広まった現象を文明開化といいます。都市部を中心に、煉瓦造りの建物、ガス灯、鉄道、郵便制度なども普及しました。他の選択肢は同時期の政治・経済政策ですが、生活様式の変化そのものを指す言葉ではありません。
問10	答え 2 幕末に結ばれた不平等条約の改正交渉を行い、あわせて欧米の先進的な制度や産業を視察すること	明治政府は、欧米列強との対等な関係を築くために不平等条約の改正を急いでいました。岩倉使節団はその予備交渉を行うとともに、日本の国力を充実させるために欧米の政治、経済、教育などの進んだ仕組みを直接学ぶことを重要な任務としていました。この視察で得た知見は、帰国後の日本の近代化政策に大きく反映されました。
問11	答え 4 新橋と横浜の間	明治政府は近代化を推し進めるため、イギリスから技術や資金を導入して鉄道の建設を行いました。1872年、現在の東京都にある新橋と、貿易の拠点であった神奈川県の横浜を結ぶ区間に日本で最初の鉄道が開通しました。当時の蒸気機関車は、人々に文明開化の到来を強く印象付けることとなりました。
問12	答え 4 五箇条の御誓文	明治新政府が発足して間もない1868年に示されたもので、天皇が公家や諸侯を率いて神々に誓う形式をとりました。これまでの封建的な旧習を打破し、開国和親や公議世論の尊重といった新しい国家のあり方を国内外に宣言する目的がありました。
問13	答え 3 内閣制度が創設され、伊藤博文が初代総理大臣に就任した。	明治初期の社会改革では、1872年の学制公布、1873年の徴兵令布告、1872年の鉄道開通などが相次いで行われ、近代化の基盤が作られました。一方、内閣制度の創設は1885年であり、大日本帝国憲法の発布（1889年）に向けた政治体制の整備が進む、より後の時期の出来事です。